

2023 第 3 回オンライン講座受講感想・意見

(順不同)

- ◆ タイトル: ココヘリ説明
- ◆ 講 師: 清水良文 氏 (AUTHENTIC JHAPAN 株式会社)
- ◆ 日 時: 2023 年 8 月 24 日(木)午後 7 時~8 時 40 分 Zoom
- ◆ 参加者: 19 名(19 会) (講師・事務局含む)

多くの皆さんから受講感想をお寄せいただきましたので紹介します。一部、書き換え(削除やアルファベット表記など)をしています。ご了承くださいたいと思います。

また、メール送付したのに抜けている…という方もいるかもしれません。私がメールを見逃したのかもしれません、お許しを頂けたら幸いです。

(1)今夜は、2023 第 3 回オンライン講座(ココヘリ説明)に初めて参加させて頂きました。労山短期保険担当をしていて、「労山関係者は参加してください。」とのことで、参加しました。今までは都合が付かず、参加できませんでした。

感想としては、会の山行部に出している計画書を「コンパス」で書いて提出すれば、良いのではないかと思います。

以前、会のメンバーで、ココヘリにかかわらず、コンパスで計画書を書くのが良いのではないかと意見を聞いたことがあります。

労山との経緯もあるのですが、やり方はどんどん進化しているので、変えられるものなら、変えていった方が良いのではないかと思います。

頭の切り替えとその技術が、だんだん追いついていかない年齢に突入していますが…。ココヘリことは、良く分かりませんが、お金に余裕があれば、入った方がベターだとは思いますが。(KE)

(2)今日のココヘリ Zoom も大変ありがとうございました。ココヘリの疑問が解消できて、とても有意義でした。(MS)

(3)昨日はお疲れ様でした。ホストのご苦労は十分承知していますが、なかなかご協力できず、大変申し訳ありませんでした。今後ともよろしく願います。(TY)

(4)お疲れ様でした。感想を述べます。昨年が続いての講習でした。資料も昨年とほぼ同様の資料で説明されていました。今回、新たに得た情報は以下のとおりです。

- ・現在のココヘリ会員は 8.5 万人
- ・ドローン捜索チームは長野と東北地方にある

・千葉県警はココヘリを導入している

★事務局注釈:県警ではなく、県内のF市の消防関係(防災ヘリ)で導入していました。

・登山計画書を電子ファイルで受け取る窓口がないため、今後検討する

追加質問です。

会では2014年にヒココ親機1台、子機3台を購入しています。

子機の発信能力は、現在のココヘリに比べて、劣っているのでしょうか。

できれば親機を含め性能の比較が知りたいです。

以上よろしく申し上げます。(IH)

★事務局注釈:『Q&A』に追記しています。回答はそちらを参照願います。

(5)2023 第3回オンライン講座(ココヘリ説明)を開催していただきありがとうございます。

また講師の清水様には、丁寧な説明をいただき御礼申し上げます。

今回の講座を受講し、遭難時の捜索・救助について、改めて考えさせられました。

コロナ禍になり3年以上も山には登っておりませんが、体力は着実に衰えていることを実感しており、山行中の怪我・病気のリスクをひしひしと感じております。

また「異常気象」が日常となりつつある現在において、天候の急変による遭難のリスクも高くなってきていると思っております。

山行時の怪我等のリスクは労山基金で何とかなると安易に考えておりましたが、この講座により、捜索・救助に関しての備えも必要と思に至ることができました。

労山基金に関するWEBページにもあるように、治療・療養への補償の労山基金と、遭難・救助への支援のココヘリの両方によりより安心が確保できるということが解りました。

ありがとうございました。(TM)

<オンライン講座実行委員会事務局>

昨年2022年引き続き、AUTHENTIC JAPAN株式会社のご協力を得て、清水さんから説明をしていただきました。

質疑応答の時間では、受講者から日ごろ感じている疑問や意見などを述べていただき、講師の清水さんか一つ一つ丁寧に回答をいただきました。

受講後には、受講生からココヘリの入会問い合わせなども届きました。

講師の清水さん、そして受講生の皆さん、ありがとうございました。

上記の他にも受講感想が寄せられていますが、質問や提案が大半を占めていましたので『Q&A』に記載しています。是非そちらも参照してください。(abiko:2023/9/8/Fri.)